



2020年度 手術実績一覧

2020年度は新型コロナ禍の中で手術控えなどもあり、手術件数は1年間に136例とここ10年で最も少なくなりましたが、内容は1)鼠径部ヘルニア59例、2)胆嚢結石症21例と、この2つの良性疾患で半数以上を占めていたことに大きな変わりはなく、悪性疾患に対する手術は8例(大腸癌6例、胃癌2例)でした。緊急手術にも対応しており、15例行い、そのうち大半の10例は急性虫垂炎でした。最多の鼠径ヘルニア手術は、前方アプローチで鼠径部を約4~5cm切開して行うダイレクトクレーゲル法を取り入れており、90%以上で手術翌日に軽快退院されています。

胆嚢結石症に対しては、急性胆嚢炎症例も含めてそのほとんどに低侵襲の腹腔鏡下に行い、90%以上で術後2日目に軽快退院しています。

ほか幅広く、自然気胸に対する胸腔鏡手術や下肢静脈瘤、痔核、直腸脱などの手術も積極的に行っています。

幽門側胃切除(胃がん)	結腸右半切除(大腸がん)
結腸左半切除(大腸がん)	直腸低位前方切除(直腸がん)
人工肛門造設術	人工肛門閉鎖術
痔核手術(根治切除術)	直腸脱手術
腹腔鏡下虫垂切除術	腹腔鏡下胆嚢摘出術
鼠径ヘルニア根治術(ダイレクトクレーゲル法、プラグメッシュ法)	
大腿ヘルニア根治術	腹壁癒痕ヘルニア根治術 乳房切断術(乳がん)
胸腔鏡下肺部分切除(VATS)	下肢静脈瘤手術(ストリッピング)
CVポート挿入留置、摘出	腸瘻造設術
皮膚、皮下腫瘍摘出	